

近畿日本鉄道21000系・21020系 「アーバンライナー」のバリアフリー設備のご案内

(2015年3月14日現在)

©作成・半沢一宣(はんざわ・かずのり)

「アーバンライナー」は1988年に名古屋～大阪間のノンストップ特急用として就役した21000系車両に付けられた愛称です。

2003年から21000系のリニューアル改造を行うことになり、改造工事中に不足する分を補う車両として21020系「アーバンライナーnext」が就役しました。

リニューアル改造後の21000系には「アーバンライナーplus」という新たな愛称が付けられています。

「アーバンライナーnext」と「アーバンライナーplus」の車内設備は同一です。

車いす対応座席(次ページの配置図で「H」と標記)

5号車(8両編成列車では7号車)の91番席と93番席が車いすからの乗り移りに便利なよう肘掛けを跳ね上げることができる構造になっていて、車いす固定用の設備もあります。

多目的室

設置されていません。

車いす対応トイレ(次ページの配置図で「B」と標記)

5号車(8両編成列車では7号車)にベビーベッド(おむつ交換台)とベビーチェアを併設した多機能トイレがあります。

洗面所

5号車(8両編成列車では7号車)の車いす対応トイレの向かいにありますが、車いす対応構造ではありません。

公衆電話(次ページの配置図で「p」と標記)

2011年頃まで、車いす対応構造ではないものが3号車(8両編成列車では5号車)に設置されていました。

飲料自動販売機(次ページの配置図で「v」と標記)

3号車に設置されていますが、車いす対応構造ではありません。

受動喫煙の発生状況

6両編成列車では3・6号車、8両編成列車では3・5・8号車に喫煙コーナーが設置されており、ここから漏れ出たたばこ煙が客室まで流れ込んだり、ここで喫煙を終えた人が自席へ戻る途中で吐き出す呼気にたばこ煙の成分が含まれていたりすることによる受動喫煙が発生しています(次ページに記載の調査列車で1号車の喫煙コーナー(現在は車内販売準備室に転用)最寄りの席に乗車したとき、喫煙コーナーに併設されているエアカーテンには効果が無いことを確認しました)。

乗車・調査の実施記録

アーバンライナーnext

2007年8月20日(月曜日)難波8時00分発名古屋行き第8列車

(全区間を1号車1番A席に乗車)

車両番号・1号車=ク21121、5号車=モ21221(2003年・近畿車輛製)

アーバンライナーplus

2006年12月23日(土曜日)名古屋9時00分発難波行き第59列車

(8両編成、名古屋駅発車前に撮影)

車両番号・7号車=モ21201

(1987年・近畿車輛製。2003年に近鉄高安工場にて車いす対応座席設置などの
リニューアル改造を実施)

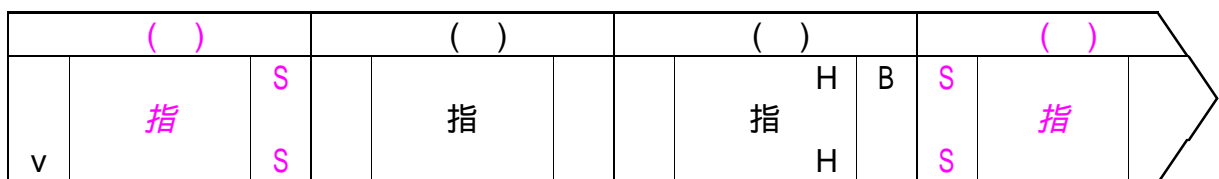
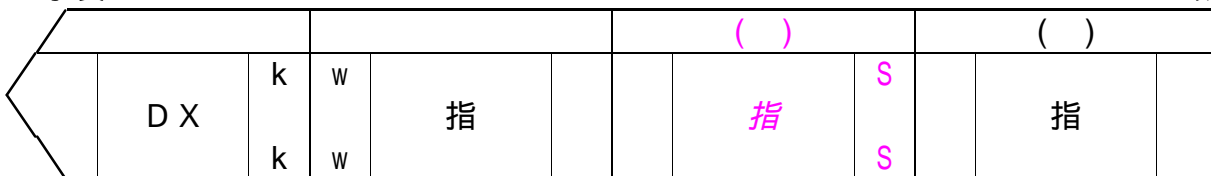
次ページ以降に掲載した写真には、別の日時・列車で撮影したものも含まれています。

近畿日本鉄道21000系・21020系「アーバンライナー」の車内設備の配置図

*基本は6両編成ですが「アーバンライナーplus」の一部の列車は 号車と 号車の間に増結車を挟み込んだ8両編成で運転します。この場合は()内の号車番号となります。

名古屋
名古屋
奈良

難波
賢島
難波



凡例

指 = 普通車指定席

H = 車いす対応座席

DX = デラックスシート(グリーン車に相当)

B = 車いす対応トイレ(ベビーベッド有)

w = 車いす非対応トイレ(ベビーベッド無)

p = 公衆電話(車いす非対応)

v = 飲料自動販売機(車いす非対応)

k = 車内販売準備室

S = 喫煙コーナー

細字 = 受動喫煙が発生していない清浄な空気の禁煙車

斜字 = 受動喫煙が発生している禁煙車

(喫煙車または喫煙コーナーに隣接している車両と喫煙ルームがある車両が該当)



近鉄21020系「アーバンライナー-next」



近鉄21000系「アーバンライナー-plus」



近鉄21020系「アーバンライナー-next」の
車いす対応座席



近鉄21020系「アーバンライナー-next」の
飲料自動販売機(車いす非対応)



近鉄21020系「アーバンライナーnext」の
多機能トイレ



近鉄21020系「アーバンライナーnext」の
多機能トイレの向かいにある洗面所



近鉄21020系「アーバンライナーnext」の
喫煙コーナー



近鉄21020系「アーバンライナーnext」の
3号車に設置されていた公衆電話
(車いす非対応、現在は撤去)